学校番号	3017

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新　数学Ⅱ」（数研出版）						
副教材等	書き込み式シリーズ教科書傍用パラレルノート数学Ⅱ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○授業は集中して聞き、授業ノートや授業プリントにきちんと取り組みましょう。自ら考え、積極的に発表や質問を行い、意欲的にとりくみましょう。
○家庭では、副教材である問題集を使って学習し、授業で学んだ内容の理解を深めましょう。
○問題集の問題は、途中式や考え方も書きましょう。各自で答え合わせをしてください。間違った所は、答えのみ訂正するのではなく、つまずいた部分から書き写し、考え方を理解しましょう。
○提出物は、指示通りきちんとやり、期限を守って提出しましょう。
○できることを繰り返すことで本当の力になります。宿題や課題をやるだけでなく、予習や復習など自ら学ぶことが大事です。

2　学習の到達目標

いろいろな式、図形と方程式の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を身につけることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式、図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化しり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	数の範囲や式の性質に着目し、等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式と計算	多項式の乗法と因数分解	a:展開の公式を用いて、３乗に関わる式を展開することができる。３次の因数分解の公式を理解し、それらを用いて因数分解することができる。 b:既習の２次式の展開公式を利用して、３次式の展開公式を導くことができる。やや複雑な式の因数分解に取り組もうとする。 c:３乗に関わる展開の公式を自ら導こうとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		二項定理	a:パスカルの三角形の性質を理解し、パスカルの三角形の作り方がわかる。 b:　展開式を深く分析し､係数についての法則を推測することができる。 c:パスカルの三角形に現れる数の並びの興味をもって調べようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		多項式の割り算	a:多項式の割り算の計算方法を理解している。 b:多項式の割り算の結果を等式で表して考察することができる。 c:多項式の割り算の計算方法を理解しようとする態度がある。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		分数式の乗法･除法･加法･減法	a:分数式を分数と同じように約分して扱うことができる。分数式の乗法・除法・加法・減法ができる。 b:分数式の計算の結果を、既約分数式または多項式に表すことができる。分数式を分数と同じように通分して扱うことができる。 c:　通分をすることで，約分できる形に適切に式変形をしようとする態度がある。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察

	複素数と2次方程式の解	複素数	a:複素数の相等の定義を理解している。複素数の四則計算ができる。複素数の除法では、分母と共役な複素数を分母と分子に掛ければよいことを理解している。負の平方根を理解している。 b:複素数の表記を理解し、複素数を実数と同一視できる。平方根を負の数にまで拡張することができる。 c:方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察しようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		2次方程式の解と判別式	a:２次方程式の解の公式を利用して、２次方程式を解くことができる。判別式を利用して、２次方程式の解を判別することができる。 b:２次方程式の解について、実際に解を求めずに、判別式で解の種類を判別することができることを理解している。 c:２次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、２次方程式の解を考察しようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
2学期	高次方程式	剰余の定理と因数定理	a:剰余の定理を利用して、多項式を１次式で割ったときの余りを求めることができる。 b:多項式が割り切れることを式で表現することができる。 c: 多項式を１次式で割る計算に，組立除法を積極的に利用する。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		高次方程式の解法	a:因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 b:高次方程式を１次方程式や２次方程式に帰着させることができる。 c: １の３乗根の性質に興味・関心をもち，具体的な問題に取り組もうとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察

	点と直線	直線上の点	a:数直線上において、２点間の距離や線分の内分点、外分点の位置や座標を求めることができる。 b: 線分の内分点, 外分点の公式を統一して捉えようとする。 c: 数直線上の点について調べようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		平面上の点	a:座標平面上において、２点間の距離や線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。三角形の重心の座標の公式を理解している。 b: 点の座標を求めるのに, 図形の性質を適切に利用できる。 c:数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の問題を考察しようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		直線の方程式	a:与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 b:１点を通る直線の方程式から、異なる２点を通る直線の方程式に拡張して考察することができる。 c:公式を利用して、直線の方程式を求めようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		２直線の平行と垂直	a:２直線の平行条件、垂直条件を理解していて、それを利用できる。 b: 直線に関して対称な点の座標を求めることができる。 c:２直線の平行・垂直の関係を、直線の傾きに着目して考察しようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察

3学期	円	円の方程式	a:与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。x，yの 2 次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 b:円の方程式がx，yの 2 次方程式で表されることを理解している。x，y の 2 次方程式が常に円を表すとは限らないことを考察しようとする。 c:与えられた方程式が表す図形に興味・関心をもつ。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察
		円と直線	a:円と直線の共有点の座標を求めることができる。円の接線の公式を理解していて、それを利用できる。 b: 円と直線の共有点の個数を，2 次方程式の実数解の個数で考察することができる。 c:円と直線の位置関係を、2 次方程式の判別式により調べようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 授業ノート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度